ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

必ずお守り下さい

本製品を安全にお使い頂くために、本製品をお使いになる前には必ず本書をお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、お読みになった後は大切に保管して下さい。本書ではお客様や他の人々への危険、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

警告	この表示の欄は、「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。
注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性・又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

🚫	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
！	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お手入れ・アフターサービス

- ●ご使用後は湿った布で汚れを拭き取った後、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に、海岸や温泉地域でのご使用後は、そのままの状態で放置すると錆や故障の原因となりますのでお気をつけ下さい。
- ●雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれいな布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばしてよく乾かして下さい。脚パイプの奥まで濡れてしまった場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お客様ご相談センターまでご連絡下さい。
- ●清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないで下さい。
- ●修理または部品を紛失した場合は、販売店か下記のお客様ご相談センターへ直接お問い合わせ下さい。本製品の性能部品は製造終了後５年を目安に保有しております。（この期間後であっても修理可能な場合もございます）
- ●製品や保証について等、疑問に思うことがあれば下記のお客様ご相談センターまでお問い合わせ下さい。

⚠警告

可変石突等のスパイクを備えた三脚や一脚を持ち運びする際は、安全のため必ずゴム石突に変換するか、ケースやレグポシェット等を使いスパイクがむき出しにならないよう気をつけて下さい。死亡や大ケガの原因となります。電車内等で周囲に人が多い場合は、いっそうの注意が必要です。

三脚には推奨積載質量が設定されています。必ずその範囲内のカメラを使用して下さい。特に、雲台がセットされた三脚自重の２倍を超えるカメラを使用すると、安定性が極端に悪くなりますのでご注意下さい。三脚が転倒し死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またカメラブレの原因にもなります。

カメラを装着したまま脚の伸縮調整や雲台の操作をする際は、必ずカメラを手で支えながらおこなって下さい。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり、指や手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。カメラ形状によってはバランスが取りにくい事もありますので、十分気をつけて下さい。

三脚を設置する際は、十分に注意しておこなって下さい。あやまって指や手をはさむとケガにつながります。また各ロック箇所やストッパーが緩んでいないか、再度確認して下さい。不意に三脚が縮んで転倒し、カメラが破損する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、確かめながら操作して下さい。

三脚は撮影用の機材です。絶対に三脚の上に腰掛けたり乗ったりしないで下さい。転倒し、死亡や大ケガにつながります。また一脚を杖がわりにして歩行補助の器具にするような行為は、不意に脚が縮み転倒するなどして大変危険です。思わぬ事故につながりますので、絶対におやめ下さい。
※強度的にも大変危険です。

ぐらついた台の上や、不整地・傾斜面等の不安定な場所で三脚を使用する場合は、十分に注意して下さい。特に、高位置での使用の場合、頭や足の上などに落下すると死亡や大ケガにつながる恐れがあります。必ず三脚を設置する前に、設置場所や周囲の状況をよく確認して下さい。近くを人が行き来するような場所での使用も注意が必要です。

三脚や一脚は金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので、通電します。高圧線等、電気が通っている物の近くでは使用を避けて下さい。また落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないで下さい。そのような場所では撮影をやめ、すみやかに避難して下さい。

三脚や一脚を、小さなお子様の手の届く場所に設置・保管しないで下さい。あやまって指や手をはさんだり、三脚が倒れて死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またベルトやストラップのある製品については、お子様の首に巻きついたりしないよう、しっかり確実に管理して下さい。

三脚にカメラを取り付けたまま、放置してその場を離れることや、三脚を場所取りのために利用することはお避け下さい。他の人や車の通行の妨げになったり、ぶつかってケガをさせてしまったり、倒れてカメラが破損する恐れがあります。

三脚の使用時は、３本の脚を十分に開いて下さい。脚の開きが不十分だと、不意に三脚が倒れケガや破損の原因となります。また不安定な状態での使用は、カメラブレの原因にもなります。

⚠注意

三脚や一脚に、カメラを装着したままでの移動はお避け下さい。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。特に、カメラを装着したまま三脚や一脚を肩に担いで移動すると、カメラが視界に入らないので大変危険です。移動時は必ずカメラを外して下さい。

40℃

製品の使用温度範囲は0℃～40℃です。この範囲を超えると、高温下ではオイル漏れをおこしたり、低温下ではパン・ティルト動作が重くなったりして、十分な性能が発揮されない場合があります。高温多湿な場所や直射日光があたる場所、自動車内等には決して製品を放置しないで下さい。

各ストッパーネジやハンドル棒・固定レバー等は、必要なとき以外は確実に締めてご使用下さい。ネジやレバーが緩んでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。また、緩んだ状態で移動すると、ネジ等を落として紛失する可能性があります。

冬場の撮影や寒冷地でのご使用においては、金属部分が凍結する恐れがありますので、できるだけ素手では操作しないで下さい。カメラマングローブ等の撮影用手袋を用いることをお勧めします。

三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないで下さい。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お客様ご相談センターまでご連絡下さい。

製品に水や砂が付いたまま使用を続けると、可動部から中に入り故障の原因となります。汚れてしまった場合は、きれいな布でよく拭き取って使用して下さい。脚パイプが濡れてしまった場合には、必ず拭いた後によく乾かして下さい。

三脚や一脚を壁に立て掛けたり、脚を閉じた細身な状態で立てておくと、不意に倒れる恐れがあり危険です。できるだけ横にして（寝かせて）置いて下さい。

長期間使用しなかった場合や、大切な撮影の前には、必ず事前に各部を点検してから使用して下さい。また高性能を保つため、１～２年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。その際はお客様ご相談センターまでご連絡下さい。

製品の水準器は、あくまで撮影の目安として装備されているものです。計測用途や業務用途での精密使用には適していませんのでご注意下さい。

雲台の取外しが可能な製品の場合雲台を交換することができます。雲台（三脚）の全てのストッパーやハンドル棒をしっかりと締め、雲台全体を反時計回りに回すと外れます。この時、雲台に顔を近づけているとハンドル棒などにぶつかり大変危険です。十分注意して作業して下さい。

製品の分解・改造等をしないで下さい。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、ご注意下さい。

（修理受付）お客様ご相談センター

〒408-0205
山梨県北杜市明野町浅尾新田12
電話：0551-25-6155
E-Mail: jpsupport@velbon.com

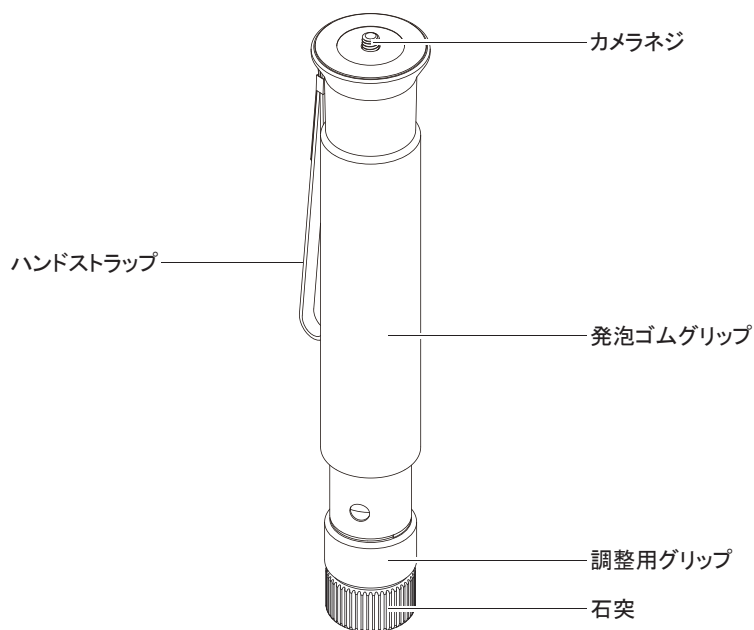
※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

保証書

商品名		お客様	様
お買い上げ年月日	平成 西暦 年 月 日 保証期間１年（お買い上げの日から）	ご住所	□□□-□□□□
ご購入店名	印		
		電話	

本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。

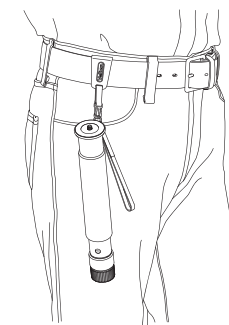
各部の名称

このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

※製品改良のため予告なしに仕様・デザイン・諸元などを変更することがありますのでご了承ください。

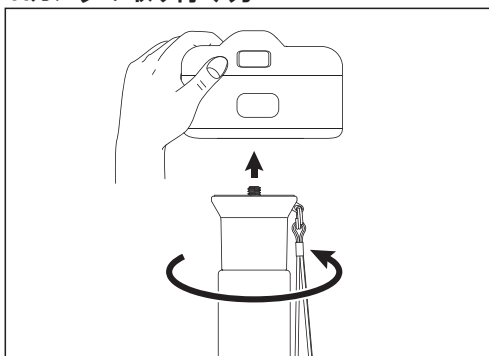
製品仕様

	ULTRA STICK SUPER 8
全　高	1560mm
縮　長	260mm
台座径	40mm
脚　径	30/27/24/21/18.2/15.4/12.6/9.8mm
段　数	8段
質　量	347g
推奨積載質量	3000g
カメラネジ	UNC1/4

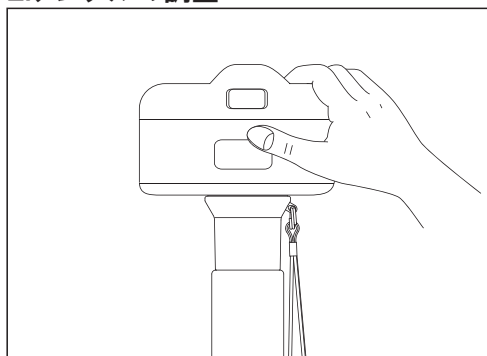
※記載の数値は平均的な値です。製品は組合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。

＜ベルトホルダー＞

ズボンのベルトに一脚を吊り下げて移動できる、「ベルトホルダー」が付属しています。先端の小さなフックを一脚のストラップリングに取り付け、ベルトホルダーをベルトの上から装着して下さい。

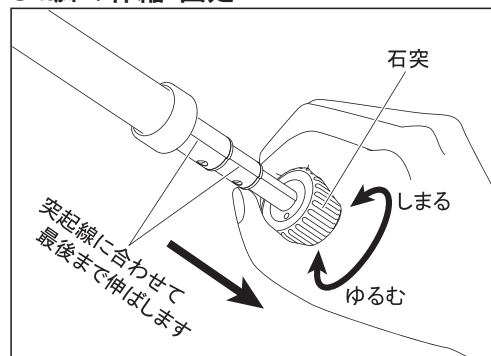
※ベルトホルダーは簡易的な装着具です。激しく動く場合には適していません。また、必ず正しく装着されていることを事前にご確認下さい。

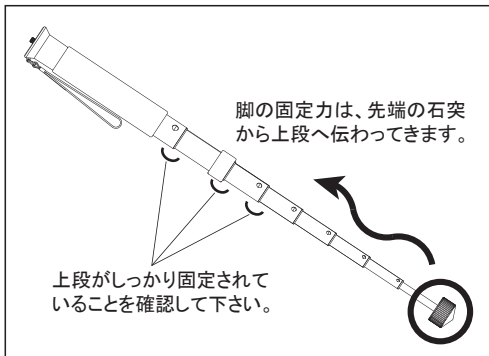
1.カメラの取り付け方

カメラ底面の取付ネジ穴に一脚のカメラネジを合わせ、一脚全体を矢印方向に回してしっかりと固定します。

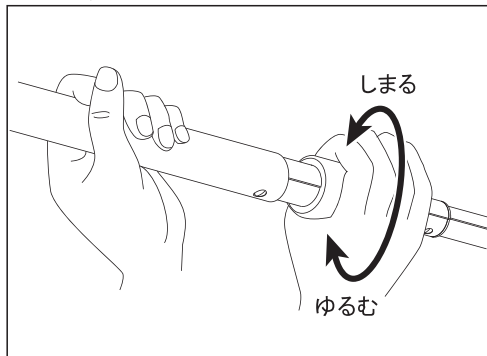
⚠ カメラを取り付ける際は、必ずカメラをしっかりと保持しながら慎重かつ確実におこなって下さい。

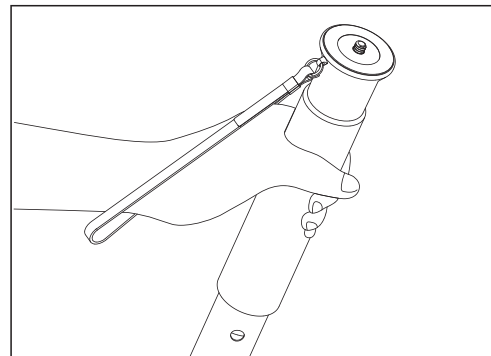
2.アングルの調整

カメラをしっかり保持しながら、一脚全体を左右または前後に傾けてアングルを決め、シャッターをきります。雲台（別売）が取り付けられていない場合は、「縦位置撮影」はできません。

※構図の微調整をするために自由雲台（ボールヘッド）の装着をおすすめします。

3-1.脚の伸縮・固定

脚を伸ばすには、脚先端の石突を握り、ゆるむ方向に「カクッカクッ」と7回の抵抗があるまで一気に回します。脚を最後まで引き伸ばしたら、今度は石突をしまる方向にキツめに回して脚を固定します。脚を縮めるときは、逆の手順をおこなって下さい。

3-2.脚の伸縮・固定

本製品は脚の段数が8段と多いため、石突を回して脚を固定する際は上段まで力が確実に伝わるよう、しっかりと回して下さい。また一度では固定しきれない場合は、（特に力が届きにくい）上段部分を再度回して固定して下さい。

4.脚の長さ調整

脚の長さを調整するには、2段目の調整用グリップを握り、矢印のゆるむ方向に回してからおこないます。調整し終わったら矢印のしまる方向へキツめに回し、脚を固定します。

5.ハンドストラップ

転倒事故防止・安定保持のため、必ず上図のようにハンドストラップを手首に通してカメラを支えて下さい。

⚠ 石突を握る際は、泥等で手を汚さないようご注意下さい。また石突と脚のあいだで指（手）を挟まないようご注意下さい。必ず機材を乗せる前に一脚を上から押さえ、脚が縮まない事を確認して下さい。